

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ文化論 (131B0-1305)		授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (応用科目)				
担当教員名	真田 久				補助担当者名					
単位数	2 単位		履修年次	2 年次	受け入れ人数	—				
授業の概要	「スポーツ文化」や「文化としてのスポーツ」の意味合いを、「スポーツ文化複合」の視点から読み解く方法を理解する。また、スポーツを文化的事象と捉える視点と考え方について学ぶ。歴史的背景もふまえながら現代のスポーツ文化の事象と関わらせて理解する。さらに、現代社会における文化としてのスポーツの価値をどのように見出していくことができるのか、自ら問題を発見し解決に導くための思考力を身につける。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	専門的な知識・教養 (課題解決力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	文化としてのスポーツの多様なあり方について理解できる。	○	○	○		○		50
		■情意的領域	スポーツと文化に関わることに興味を持ち、問題を発見する「気づき」の力を身につけることができる。			○	○			25
■技能的領域	自分の考え方を他者に理解できる文章にまとめる思考力と文章力を身につけることができる。			○				25		
成績評価の基準	授業時の小レポートと発表、試験から総合的に評価する。									
テキスト、教材 参 考 書	『スポーツ文化論』（寒川恒夫編著、杏林書院）『よくわかるスポーツ人類学』（寒川恒夫編著・杏林書院）、『オリンピック・パラリンピックを学ぶ』（後藤光将編、岩波ジュニア文庫）など。									
履修条件・ 関連科目	特になし		備考(教員メッセージ含む)		オリンピックやスポーツに関する新聞記事を読み、TVでのニュース解説などを見て、自身の考えを研ぎ澄ませること。スポーツに限らず社会の様々な事象に興味、関心を広げること。					
オフィス・アワー										
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	真田 久	ガイダンス、スポーツの概念の広がり				スポーツに関する文化的側面をあげる				
2	〃	スポーツ文化複合について				スポーツ文化複合の考えを適用する				
3	〃	葬送儀礼としてのスポーツ				スポーツに関する儀礼について考える				
4	〃	相撲と葬送儀礼				相撲の文化的側面について考える				
5	〃	古代の聖火と松明競技				古代人の視点から聖火について考える				
6	〃	古代スポーツと芸術				古代ギリシャのスポーツと芸術の関連について考える				
7	〃	オリンピックと芸術競技、文化プログラム				近代オリンピックの芸術との関連について考える				
8	〃	疫病とオリビズム				アントワープ1920大会について今日的課題と合わせて考える				
9	〃	嘉納治五郎のスポーツ文化				嘉納治五郎の理念と活動について考える				
10	〃	オリンピックのエンブレム、マスコット				エンブレムやマスコットの意味について考える				
11	〃	オリンピックと聖火				東京1964、東京2020大会の聖火リレーについて考える				
12	〃	東京1964大会のスポーツ文化				芸術展示や民俗資料について考える				
13	〃	長野1998大会のスポーツ文化				国際交流教育について考える				
14	〃	東京2020大会のスポーツ文化				文化プログラム、ホストタウンについて考える				
15	〃	スポーツ文化の多様性				スポーツの持つ多様な文化的側面について考える				
16	〃	試験				スポーツを文化として捉える視点を整理する				